

情報端末機器の有効な活用とともに、生活リズムの自己管理や情報モラルについても継続的な指導や支援を進めていきます。

3点目は、食育の充実です。栄養教諭と連携して、望ましい栄養摂取や食材に関わる人について学ぶ機会の設定など、食に関する指導を実施します。

また、児童生徒個々のアレルギー情報を保護者および学校と共有しながら、安全・安心な給食を提供します。

【ふるさと・キャリア教育の推進】

地域への理解を深め、自分と地域とのかわりや将来像について学び、



考え、実践する児童生徒を育むことについて申し上げます。

1点目は、ふるさとの自然、産業、文化、人に触れる学びや体験を継続します。学習の中で、発達段階に応じたキャリア教育やふるさと厚岸を再発見する活動を展開していきます。

また、タイムカプセルの開封事業を通して、ふるさとの歴史に触れる機会を設けます。

2点目は、ふるさとの魅力を発信する活動を進めます。学んだことや体験したことを他者に対して情報発信する取り組みを進めます。

3点目は、キャリア教育の充実です。学習や活動の内容をキャリアパスポートに記録し振り返る活動を通して、自分の成長に気付いたり、将来の生き方について考えたりする教育を進めます。

【特別支援教育の充実】

児童生徒が、それぞれの個性や能力を発揮しながら学び、生活する力を育む特別支援教育を推進することについて申し上げます。

1点目は、教師間連携・校種間連携・保護者との連携を継続推進します。学習や生活指導上において支援を要する児童生徒に対する個別の指導・支援計画の作成および共有化を進めます。

2点目は、免許所有者の増員を促



します。特別支援免許講習の受講促進や研修内容の情報共有を進め、専門的知識を持って対処できる環境を整備していきます。

3点目は、指導力向上研修を推進します。既存組織や資料を活用しながら、効果的かつ実践的な研修を推進し、共通理解の下で指導が行える体制を継続します。

4点目は、学級支援員の適性配置に努めます。よりよい教育支援環境を整備するために、道費負担職員の基準配置に加え、学級支援員を増員配置して人的支援を行います。

【今日的課題への対応】

社会情勢、教育の課題および動向、

地域の課題等に対応する教育を、学校や地域の実態に応じて進めることについて申し上げます。

1点目は、ICTを活用した教育の充実です。国のGIGAスクール構想を受け、Society 5.0時代に生きる子どもたちに生きる力を育み、可能性を広げるために、1人1台の端末環境を効果的に活用し、確かな学力の育成はもとより、プログラミング教育や情報モラル教育の充実を図ります。

2点目は、感染症予防に関する教育の継続です。新型コロナウイルス感染症においては、児童生徒の『うつらない』『うつさない』という意識や実践力を高めるとともに、感染症に関する差別・偏見を防止する指導を継続します。

3点目は、防災教育の充実です。子どもを取り巻く環境に内在する危機に適切に対応するために、各校の危機対策マニュアルの点検と見直しを適時行います。

また、防災意識を高めるために町総合防災訓練に参加するとともに、日常の指導も継続して実施します。

【教育環境の充実】

安全・安心で快適な施設・設備の充実と、教育の機会均等に配慮した環境整備に努めることについて申し上げます。